

18 国 際 理 解 教 育

(1) 外国語指導助手 (ALT) 配置事業

英語を母国語とする有能な外国人青年を雇用し、外国語指導助手 (A L T) として積極的に活用することにより、主として高等学校における外国語教育の一層の充実と国際理解教育の改善・充実を図った。

配 置 先	配置人数
学びの改革支援課	1 人
総合教育センター	1 人
高 等 学 校	41 人
計	43 人

(任期 R 元. 8～R2. 7)

(2) 外国籍等児童生徒指導研修事業

指導に携わる教師を対象とした研修会を 4 教育事務所毎に 2 回開催し、266 名が参加。中央研修に参加した日本語指導教員が伝達講習をしたり、授業を通しての研究会や日頃の悩み等とその改善策について話し合ったりするなど、外国籍等児童生徒に対する適切な指導の推進を図った。

(3) 高校生海外留学支援事業「信州つばさプロジェクト」

県企画プログラムとして 4 コースを企画し、「芸術コース」(オーストリア・ウィーン音楽研修) に 14 名、「グローバル・インターンシップコース」(マレーシア研修) に 15 名の生徒が参加した。また、個人留学支援として 13 名の生徒が各自で計画した海外留学を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県企画プログラムのうち「SDGs 探究コースⅠ」(台湾高雄市での研修) や「SDGs 探究コースⅡ」(カンボジア、ベトナム等での研修) など、実施できなかったものもあったが、参加した生徒は異文化を体験したことで国際的な感覚を得ることができた。